



# 2025年8月期 第2四半期 決算説明資料

# INGS

株式会社INGS  
(証券コード：245A)

2025年4月

## 2025/8期 2Q累計業績

- 既存店はラーメン事業106.0%、レストラン事業107.1%と好調に推移し、売上高は3,630百万円(昨対比+587百万円)で着地
- 営業利益は (外形標準課税適用による)租税公課の計上(昨対比+20百万円)や2店舗休業(昨対比影響額△21百万円)、新店OPENまでの先行費用(昨対比+8百万円)もあり、166百万円(昨対比△28百万円)で着地

## 2025/8期 2Q Topics

- 2Q(12-2月)の直営店における新規出店につき、ラーメン事業は業態変更1店舗含む3店舗、レストラン事業は新業態1店舗含む2店舗となり、2Q累計で計8店舗、加盟店(※)は計3店舗となった
- 「らぁ麺 はやし田」の「特製醤油らぁ麺」がジャパン・フード・セレクション 第82回スペシャルティ部門にて、グランプリを受賞

※ラーメン事業におけるプロデュース店舗及び、レストラン事業におけるライセンス店舗を指しております。

# Section 1. 2025/8期 第2四半期 決算報告

---

# 2025/8期 第2四半期累計 業績サマリー(損益計算書)

- 売上高では、既存店が両事業ともに前年を上回る実績となり好調であったこと、売上高に占める直営店の割合が増えたこと等も背景に売上高総利益率は昨対比+0.7%にて着地
- 営業利益では、通期予想の前提で記載の通り、25/8期は上場、資本金の増加に伴う外形標準課税の適用により、租税公課が増加したこと(昨対比+20百万円)、また、2店舗の休業による減少(次頁参照、昨対比影響額△21百万円)、新店OPENまでの先行費用(昨対比+8百万円)等も背景に昨対比では減益に
- 経常利益では、1Q上場に伴う一過性の費用(営業外費用)として上場関連費用及び株式交付費計17百万円を計上
- 四半期純利益では、固定資産除却損及び火災損失計上(次頁参照)も踏まえ、昨対比で減益となった

(百万円)	2024/8期 2Q累計	2025/8期 2Q累計	前年増減
売上高	3,043	3,630	+587
売上総利益	2,002	2,414	+412
営業利益	195	166	△28
経常利益	184	136	△47
四半期純利益	126	70	△56
売上高総利益率	65.8%	66.5%	+0.7%
営業利益率	6.4%	4.6%	△1.8%

- 2025/8期 第2四半期の以下期間において弊社直営店の2店舗が休業
  - 「らぁ麺 はやし田」新宿店⇒2024/12/25～2025/3/5  
店舗改装工事实施のため休業。2025/3/6のリニューアルオープン後は、従来よりも店内席数が増加
  - 「焼売のジョー」立川店⇒2025/1/19～2025/2/25  
火災発生に伴う臨時休業。店舗は1・2階で運営しており、1階部分のみ2025/2/26から営業を再開。2階部分については、別途修復工事完了後の再開を想定。なお、本件火災における負傷者の発生はございません
- 上記2店舗休業に伴う第2四半期の前年比影響額
  - 売上高 ⇒△36百万円  
営業利益⇒△21百万円  
2店舗の休業期間における売上高減少、それに伴う利益額の減少  
また、営業再開に向けた販売費及び一般管理費発生によるもの
  - 特別利益⇒+4百万円  
「焼売のジョー」立川店の1階部分に係る修繕費等に対し、確定した「受取保険金」を計上したもの
  - 特別損失⇒△16百万円  
「らぁ麺 はやし田」新宿店の既存設備に係る「固定資産除却損」で△5百万円、「焼売のジョー」立川店の「火災損失」(1階部分に係る修繕費等及び2階部分に相当する固定資産の金額の合計額)で△10百万円  
なお、2階部分における修復工事は別途対応予定であり、当該投資相当額も別途保険金を受領する見通し  
(保険金が確定次第、特別利益として第3四半期以降に計上される想定)

- 新規出店店舗の上乗せ、両事業における既存店の成長を踏まえ、25/8期2Q累計の前年比での売上高成長率は19.3%の水準となった

売上高成長率

19.3%

新規出店数

直営店

8店舗

プロデュース・ライセンス店

3店舗

既存店売上高  
(前年同期比)

ラーメン事業

106.0%

レストラン事業

107.1%

# 2025/8期 第2四半期累計 業績サマリー(セグメント損益)

(百万円)	24/8期 2Q累計	25/8期 2Q累計	前年増減
売上高(A)	3,043	3,630	+587
ラーメン事業	1,571	1,905	+334
レストラン事業	1,471	1,725	+253
営業利益	195	166	△28
ラーメン事業	161	146	△15
レストラン事業	33	20	△13
営業利益率	6.4%	4.6%	△1.8%
営業利益+のれん等償却費(B)	249	221	△27
ラーメン事業	161	147	△14
レストラン事業	87	74	△13
(B)÷(A)	8.2%	6.1%	△2.1%
ラーメン事業	10.3%	7.7%	△2.6%
レストラン事業	6.0%	4.3%	△1.6%

# 2025/8期 第2四半期 業績サマリー(貸借対照表)

- 公募増資資金を活用し、新規出店に係る設備投資(有形・投資その他の資産)が増加
- のれん等の無形固定資産は26百万円が減少
- 公募増資等により純資産は1,755百万円、自己資本比率は43%に

(百万円)	24/8期	25/8期2Q	増減
流動資産	1,306	1,625	+318
現金及び預金	1,005	1,293	+287
売掛金	145	140	△5
その他	155	192	+36
固定資産	2,140	2,421	+280
有形固定資産	1,140	1,386	+245
無形固定資産	452	426	△26
投資その他の資産	548	609	+61
総資産合計	3,451	4,048	+597

(百万円)	24/8期	25/8期2Q	増減
流動負債	1,251	1,075	△176
買掛金	222	220	△2
1年内社債・長期借入金	522	448	△73
その他	506	406	△99
固定負債	1,429	1,217	△211
社債・長期借入金	1,197	984	△213
その他	231	232	+1
純資産	770	1,755	+985
負債純資産合計	3,451	4,048	+597



2025/8期 第2四半期累計 キャッシュ・フロー計算書における主な内容は以下の通りとなります

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ✓ 税引前当期純利益：125百万円、減価償却費：73百万円、のれん償却額：45百万円  
法人税等の支払額：△91百万円

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ✓ 有形固定資産の取得による支出：△302百万円、敷金及び保証金の差入による支出：△41百万円

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ✓ 株式の発行による収入：906百万円、長期借入金の返済による支出：△228百万円  
社債の償還による支出：△58百万円

(百万円)	24/8期 2Q累計	25/8期 2Q累計	前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	149	102	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	△424	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	16	609	+593
現金及び現金同等物の期末残高	700	1,293	+592

# Section2. 2025/8期 第2四半期 Topics

---

# Topic①-1 : ラーメン事業は業態変更1店舗含む3店舗の新規出店 10

- ラーメン事業の直営店は第二四半期(12-2月)で3店舗を新規出店
- そのうち1店舗は、「麺や 麦糸紋」の業態変更を行い、新業態として「横浜家系ラーメン みどり」をOPEN

2024年12月

らぁ麺 はやし田 渋谷宇田川町店  
OPEN



2025年1月

横浜家系ラーメン みどり  
OPEN



2025年2月

らぁ麺 はやし田 北千住店  
OPEN



- レストラン事業の直営店は第二四半期(12-2月)で2店舗を新規出店
- そのうち1店舗は、新業態として「魚の登竜門 すしショップ百太郎」をOPEN。業態を増やすことで、新規出店余地の拡大を図る

2025年1月

CONA 田町芝浦店 OPEN



2025年2月

魚の登竜門 すしショップ百太郎(レストラン事業 新業態) 錦糸町にOPEN



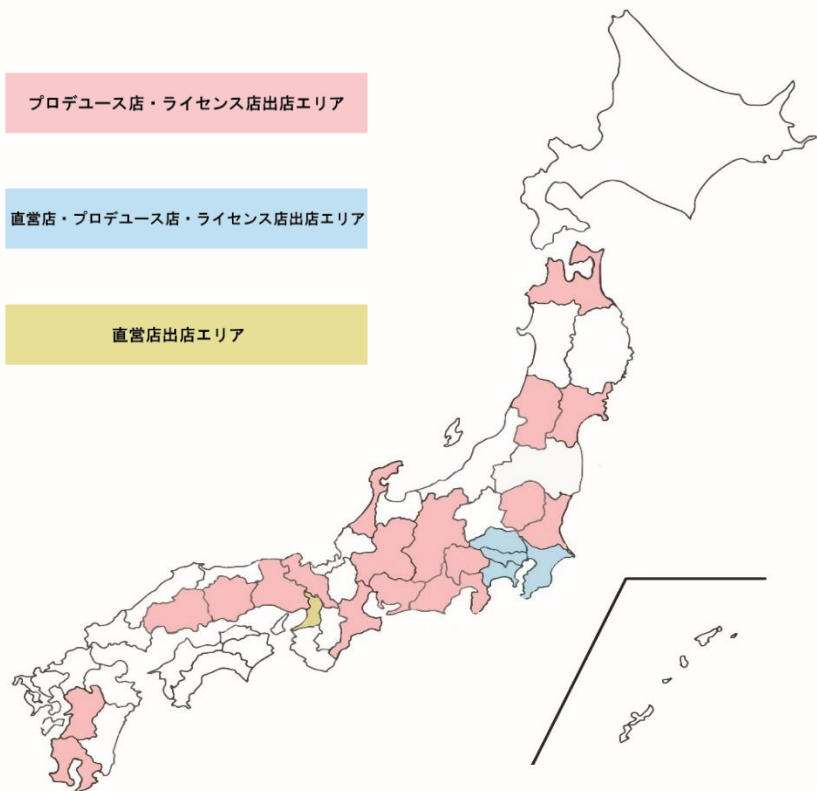
- ✓ 旬の海鮮を手頃な価格で楽しめる、「すし居酒屋」として出店
- ✓ 酒場としての利用は勿論のこと、ファミリー層も含め、気軽に立ち寄れる空間を提供
- ✓ 客単価は3,500円程度を想定



# Topic①-3 : 新規出店(プロデュース・ライセンス店)

- ラーメン事業のプロデュース店は2店舗、レストラン事業のライセンス店は1店舗がオープンし、第二四半期累計で**計3店舗がオープン**
- 出店エリアにつき、一都三県、地方それぞれで展開

直営店・プロデュース、ライセンス店 出店済エリア(2025年2月末時点)



(ご参考)エリア毎の出店戦略イメージ

	一都三県 (※1)	一都三県 (※1)	一都三県以外 (※2)	一都三県以外 (※2)
	都市型	郊外・ロード サイド型	都市型	郊外・ロード サイド型
ラーメン事業 直営店	✓	✓	—	—
レストラン事業 直営店	✓	—	—	—
ラーメン事業 プロデュース店	✓	✓	✓	✓
レストラン事業 ライセンス店	✓	—	✓	—

※1 直営店：一都三県の主に乗降客数10万人以上のエリア  
 プロデュース店、ライセンス店：一都三県の主に乗降客数3万人以上のエリア  
 での出店を想定  
 ※2 直営店はあくまで一都三県中心の出店ではあるものの、一部、大阪府等の3大都市圏の出店も想定

※一都三県は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を示しております。

- 「らぁ麺 はやし田」における「特製醤油らぁ麺」がジャパン・フード・セレクション 第82回 スペシャルテ部門にて、グランプリを受賞
- 評価されたポイントとしては、右記の通り

## ジャパン・フード・セレクション グランプリ受賞

らぁ麺



2024年12月  
グランプリ受賞

### 評価ポイント

- ✓ 鶏と鴨の出汁が濃厚ながらすっきりとした旨味を演出している
- ✓ 全粒粉の細麺がつるりとしたのど越しでスープと調和している
- ✓ 低温調理されたチャーシューがしっとり柔らかく満足感がある
- ✓ 工夫されたトッピングが全体の味わいを引き立てている
- ✓ カウンター席から調理が見えるライブ感が来店客を魅了する
- ✓ 高い衛生管理と接客が安心感と好印象を与えている
- ✓ SNSや口コミ活用がブランド力の向上に貢献している

### ■ ジャパン・フード・セレクションについて

一般社団法人日本フードアナリスト協会が主催する日本初の食品・食材の評価・認定制度「ジャパン・フード・セレクション」。23,000人のフードアナリスト資格者を対象に、アンケートや試食による一次審査、二次審査を経て、最終の試食審査では「味」「製法」「デザイン」など細かなチェックポイントに基づいた厳正なる評価のもと、100を超えるチェック項目を元にフードアナリスト資格者が評価をします。評価は絶対評価で、フードアナリストの資格者が付けた点に応じて賞が授与されます。

グランプリ …100点満点中 90点～100点の製品

金賞 ……100点満点中 80点～89点の製品

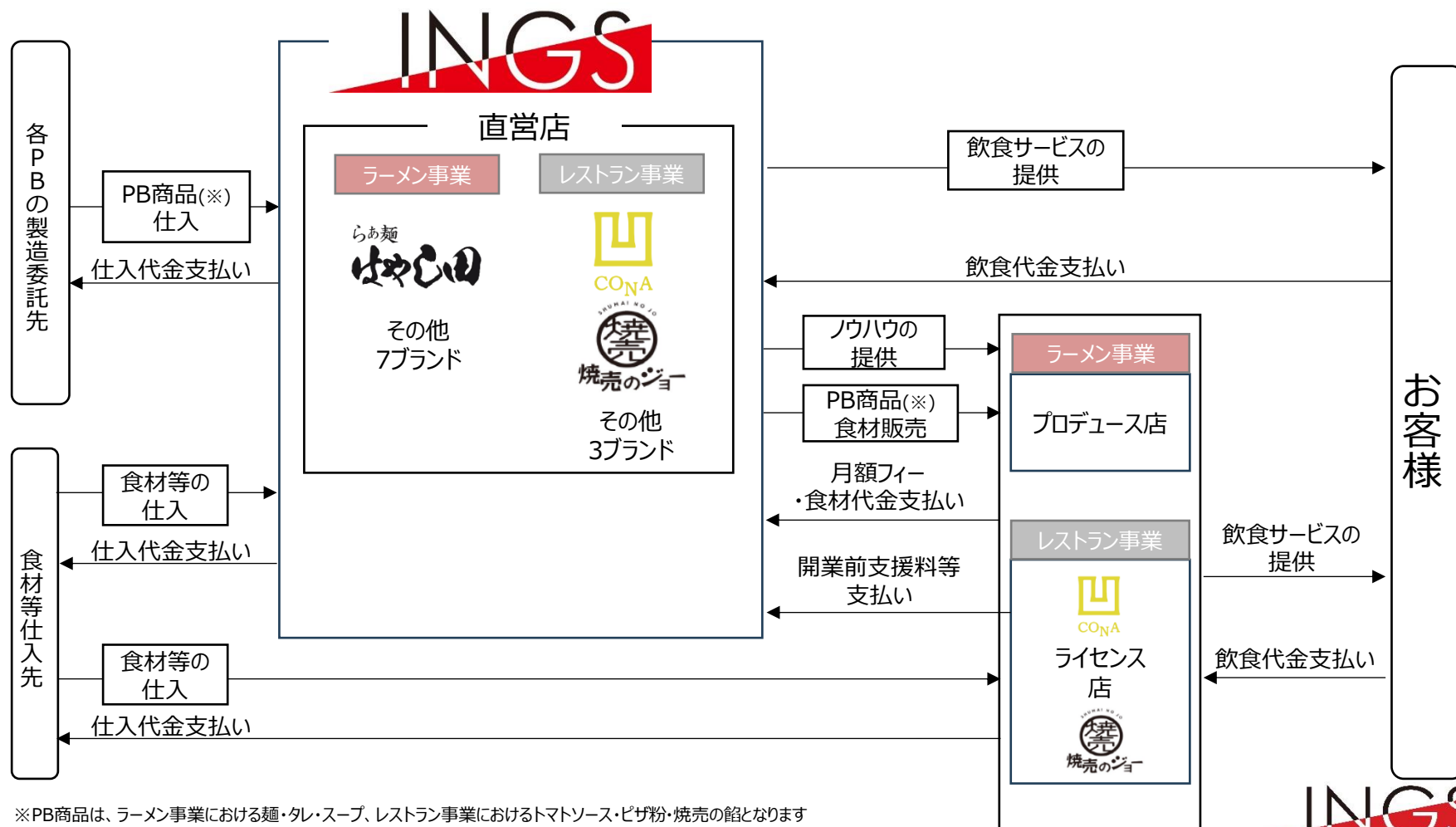
銀賞 ……100点満点中 70点～79点の製品

銅賞 ……100点満点中 60点以上～69点の製品

## 参考資料①. 会社概要

---

- ① ラーメン事業 – 直営店部門、プロデュース部門(PB商品等の食材販売や店舗運営のノウハウ提供等) を展開
- ② レストラン事業 – 直営店部門、ライセンス部門(PB商品等の食材販売や「CONA」及び「焼売のジョー」のライセンス貸与)を展開



※PB商品は、ラーメン事業における麺・タレ・スープ、レストラン事業におけるトマトソース・ピザ粉・焼売の餡となります



# 事業内容-ラーメン事業（直営店部門）

- ラーメン事業 直営店部門は、「らぁ麺 はやし田」が主カブランドであり24店舗を展開
- 2023年3月に1号店をOPENした「日本油党」も足元出店を増やしている

ジャンル	醤油	油そば	塩	煮干し	家系
ブランド					
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ はやし田は、ラーメン事業の主軸ブランド</li> <li>✓ 鴨、大山鶏の丸鶏を使用した醤油ベースのらぁ麺を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 油そば専門店</li> <li>✓ ベーシックな油そばから、釜玉油そば、たらこバター釜玉 油そば等を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 金目鯛のアラを使用した鯛スープ</li> <li>✓ のど越しを重視した全粒粉入りの香り豊かな細麺を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 煮干スープと、豚骨、鶏ガラ等の数種類の動物系食材を併せたダブルスープをベースとしたラーメン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 豚や鶏の骨を大量に使用し、肉感や骨感も残し、濃厚なスープを炊き出した家系ラーメン</li> </ul>
商品写真					

- ラーメン事業 プロデュース部門では、ラーメン店の開業に関する支援、当社のPB(プライベートブランド)商品を販売。屋号は当社のブランド名でなく、**オーナー様独自の屋号にて展開**
- 開業時に負担する加盟金や研修費をゼロとしていること、また、居抜きでの出店も可能であることから、オーナー様は**投資額を抑えた出店が可能**

## プロデュース部門の特徴

項目	概要
屋号	オーナー様のオリジナルブランドとすることが可能
指定食材	メインの食材 (麺、タレ、スープのみ) (※)
加盟金	0円
研修費	0円
月額フィー	月額5万円

## プロデュース部門の店舗出店事例



## ● CONAの特徴

- ① 生地から手作りの窯焼きPIZZA  
30種以上がALL500円
- ② サイドメニューも500円～
- ③ WINE BOTTLEが1本1,900円～

## ● 焼売のジョーの特徴

- ① ありそうでなかった焼売酒場
- ② 焼売1個99円
- ③ 中華料理から居酒屋定番おつまみ、  
SNS映えするメニューも提供

いずれのブランドも客単価2,500円前後となっており、リーズナブルな業態  
⇒直営店のみならず、ライセンス店を通じ、地方含めた全国展開が可能なモデル



- 当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に中長期で当社株式を保有いただくこと、また、当社事業、運営店舗の認知や、理解の拡大を図ることを目的として株主優待を新設
- 優待の内容としては、店舗で利用できる食事券に加え、店舗へのご来店が難しい株主様のことも勘案し、ECサイトでの利用も選択肢としてご用意する予定

保有株数	優待内容
100株～299株	2,000円相当(1,000円相当×2枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間4,000円相当)
300株～499株	6,000円相当(1,000円相当×6枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間12,000円相当)
500株以上	10,000円相当(1,000円相当×10枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間20,000円相当)

## 電子チケット 利用可能範囲

- ① ラーメン事業 直営店・・・1枚につき、券売機及びメニュー表からお好きな一品が無料
- ② レストラン事業 直営店及びライセンス店(一部店舗除く)・・・上記金額を割引
- ③ ECサイト(当社らぁ麺の冷凍商品)・・・上記金額を割引  
(それぞれにつき、ご利用代金が電子チケットの金額を下回った場合には、差額の返金はありません。)

## 対象となる株主様

継続して半年(6ヶ月)以上、当社株式を100株以上保有する株主様(※)を対象

※100株以上を保有し、毎年2月末日及び8月末日の当社株主名簿に、同一株主番号で2回以上連続して記載または記録されている株主様

## 株主優待制度の開始時期及び贈呈の時期

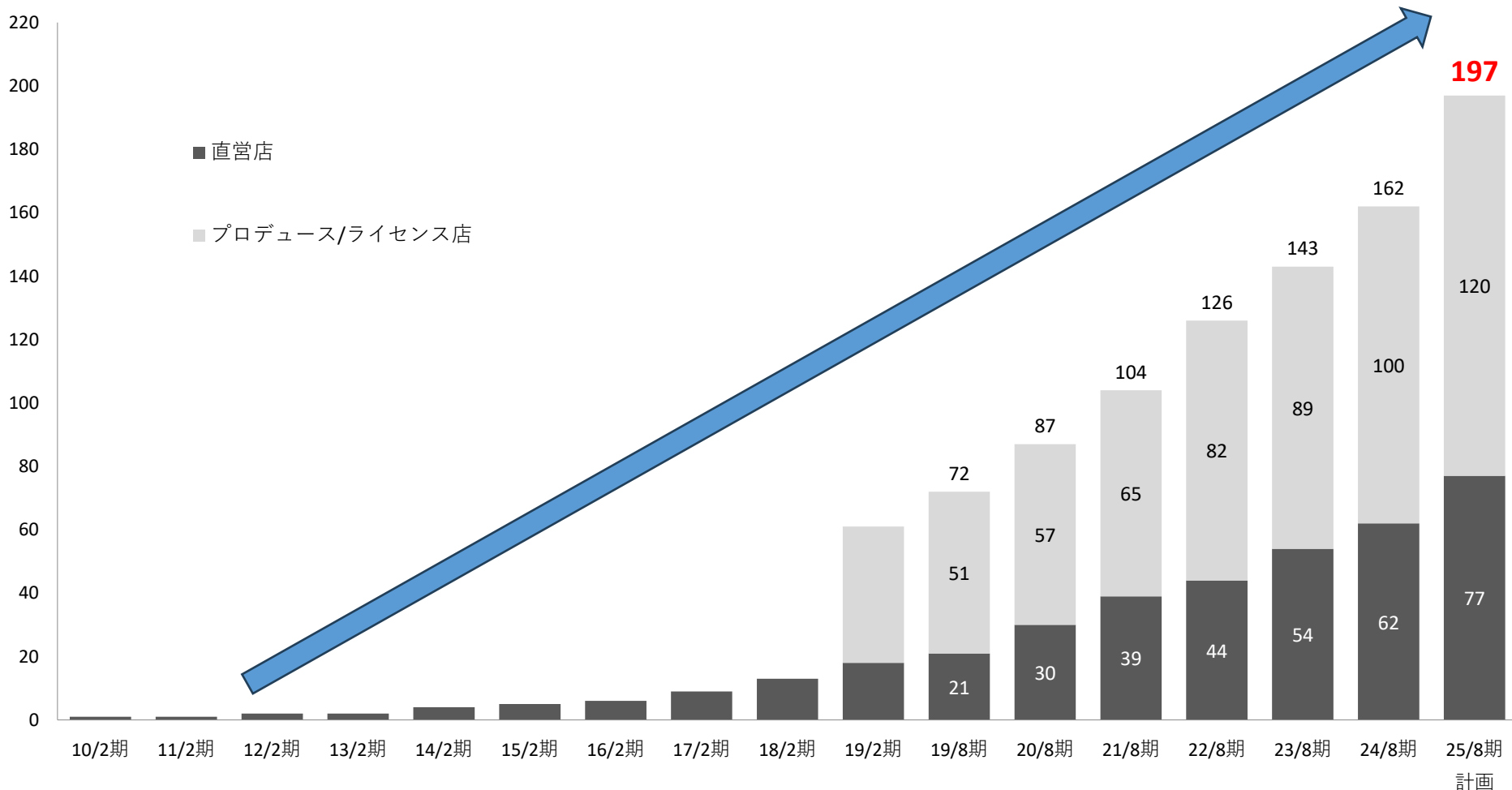
初回は2025年2月末及び2025年8月末時点の当社株主名簿に、同一株主番号で連続2回記載され、当社株式を100株以上保有されている株主様を対象として株主優待制度を開始。対象となる株主様には2025年11月にご案内をお送りする予定(株主総会招集通知に同封を予定)

## 参考資料②. 2025/8期 業績見通し(変更なし)

---

# 店舗数推移及び2025/8期 新規出店計画

- コロナ禍においても新規出店を継続、2024年8月末時点の合計店舗数は162店舗
- 2025/8期は直営店でラーメン事業7店舗、レストラン事業8店舗の計15店舗出店、プロデュース・ライセンス店では純増20店舗を計画、2025年8月末で計197店舗を想定



# 2025/8期 通期業績予想(損益計算書)

- 前述の新規出店数の想定を踏まえ、売上高は23%成長を想定
- 既存店においては、2事業ともに前年比100%程度を想定
- 販管費においては、上場に伴う租税公課(外形標準課税)の上乗せを見込む

(百万円)	2024/8期	2025/8期	前年増減	前年比
売上高	6,418	7,896	+1,477	+23.0%
ラーメン事業	3,290	4,027	+736	+22.4%
レストラン事業	3,128	3,868	+740	+23.7%
売上総利益	4,239	5,164	+924	+21.8%
営業利益	450	506	+55	+12.4%
経常利益	425	472	+46	+11.0%
当期純利益	285	301	+15	+5.4%

- 本資料に含まれる当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、またこれを保証するものではありません
- 本資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません